

1. 授業の概要(ねらい)

「世界は有限か無限か」「世界に目的や意味はあるのか」「人間の世界と動物の世界は同じなのか」等々、あなたが考えたことがあるかもしれない世界に関する問いは、哲学者が考えてきた問いでもあります。本講義では、古くから哲学上の根本問題として扱われてきた「世界」もしくは「自然」をキーワードとして、哲学の歴史に触れながら自分で哲学する仕方を学びます。「世界」ないし「自然」という人間が拠って立つ地盤について考えるを通して、みなさんがあたりまえと思っていたことを問いなおし、これまでよりも深く、別の可能性も考えることができるようにしましょう。

この授業は主に講義形式ですが、教員からの一方的な情報伝達ではなく、ディスカッションの時間を設けると共に、希望者によるプレゼンテーションを行います。

なお、この授業は、総合基礎科目の学修目標2、3に関連します。

2. 授業の到達目標

- ・学生は、講義で取り上げる哲学者の思想内容を理解し、自分の言葉で説明できる。(知識・理解)
- ・学生は、論理的・批判的に思考できる。(技能)
- ・学生は、批判的読解ができる。(技能)
- ・学生は、プレゼンテーションができる。(技能)

3. 成績評価の方法および基準

- ・定期試験:80%、講義への積極的な参加(意見を言う、テキストを読む、発表、総括):20%
- ・毎回の講義にある考察の時間でフィードバックを行います。また、発表についてフィードバックを行います。

4. 教科書・参考文献

教科書

LMS 上で講義プリントを配布します。

参考文献

納富信留／檜垣立哉／柏端達也編 『よくわかる哲学・思想』 ミネルヴァ書房、2019年

ISBN: 978-4623084104

『哲学の歴史』全12巻+別巻 中央公論新社、2008年

ルネ・デカルト 山田弘明訳 『方法序説』 ちくま学芸文庫、2010年

ISBN: 978-4480093066

マルクス・ガブリエル 清水一浩訳 『なぜ世界は存在しないのか』 講談社、2018年

ISBN: 978-4062586702

Center for the Study of Language and Information, Stanford University The Stanford Encyclopedia of Philosophy <https://plato.stanford.edu/>

5. 準備学修の内容

- ・第2～11回:毎回の講義の教材は、前もってLMSに掲載されます。その回の講義内容にある問い(例:世界は有限か無限か)について自分なりに考え(30分)、LMSの教材を使って予習をして講義に臨んでください(30分)。また、事後学修として、試験に向けて講義内容を要約してください(120分)。
- ・第12・13回:発表希望者は発表準備をしてください(180分)。
- ・第14回:総括希望者は担当する回の講義内容を要約し、短い考察を用意してください(180分)。

6. その他履修上の注意事項

- ・後期の「倫理学」とあわせて受講することが望ましいですが、必須条件ではありません。
- ・本講義では、LMS で資料を配付し、アンケート機能等を使用します。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション(哲学とは何か)
- 【第2回】 デカルト(世界の内で確実に存在するものはあるのか)
- 【第3回】 ライプニッツ(この世界以外に可能な世界はあるのか)
- 【第4回】 バークリー(世界の内にいるものは知覚されなくとも存在するのか)
- 【第5回】 カント(世界は有限か無限か)
- 【第6回】 ショーベンハウアー(世界に目的や意味はあるのか)
- 【第7回】 フッサール(心は世界にどうつながっているのか)
- 【第8回】 ハイデガー①(人間と世界はどのような関係にあるのか)
- 【第9回】 アーレント(世界が維持されていくために何が必要か)
- 【第10回】 ハイデガー②(人間の世界と動物の世界は同じなのか)
- 【第11回】 現代の世界論(世界は存在するのかしないのか)
- 【第12回】 プレゼンテーション①
- 【第13回】 プレゼンテーション②・総括について
- 【第14回】 総括
- 【第15回】 試験とまとめ